

ZENRIN

証券コード：9474

2018年3月期 決算説明会

2018年5月18日

株式会社 ゼンリン
Maps to the Future

代表取締役社長	高山 善司
代表取締役副社長	網田 純也
執行役員コーポレート本部長	戸島 由美子

2018年3月期 決算説明会

1. 2018年3月期 決算概要
2. 2019年3月期 業績予想
3. 事業概況
4. Appendix

注)本資料には、本資料作成日時時点で入手可能な将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。世界経済の動向・市場需要・競合状況・為替の変動等にかかわる様々なリスクや不確定要因により、実際の業績が記載の予想数値と大幅に異なる可能性がありますことをご承知おください。

尚、本資料掲載情報は、表示単位未満の端数切捨て、増減率の小数点以下第2位四捨五入し小数点第1位まで記載しております。

また、増減率が1000%を超える場合、及び一方若しくは両方がマイナスとなる場合は「－」表記しております。

1. 2018年3月期 決算概要

- 1) 決算概要
- 2) 営業利益増減要因(前期比)
- 3) 中長期経営計画(ZGP2020)で区分した事業別売上高
- 4) セグメント情報
- 5) キャッシュ・フロー推移
- 6) 資本政策及び株主還元(株式分割・自己株式取得・配当金)

目次 2018年3月期 決算概要

1-1)決算概要

2018年3月期 決算説明会

ZENRIN
Maps to the Future

2018年3月期 決算のポイント

前年同期比<増収増益>

- 売上高は3期連続増収の過去最高を更新
営業利益、経常利益も3期連続増益。親会社株主に帰属する当期純利益は4期連続増益
- 国内カーナビゲーション用データの販売が好調、GIS関連の売上も堅調に推移
- 増収に伴う支払手数料などの売上原価の増加に加え、販売費及び人件費などの一般管理費も増加

(金額単位:百万円)

	2017年3月期 実績	2018年3月期 予想	2018年3月期 実績	前期比	増減率 (%)	予想比	増減率 (%)
売上高	57,819	60,000	61,332	3,512	6.1	1,332	2.2
営業費用	53,584	55,500	55,890	2,305	4.3	390	0.7
営業利益 営業利益率	4,234 7.3%	4,500 7.5%	5,441 8.9%	1,207 1.6pt	28.5	941 1.4pt	20.9
経常利益	4,527	4,700	5,863	1,335	29.5	1,163	24.7
親会社株主に帰属 する当期純利益	2,462	2,700	3,336	874	35.5	636	23.6

© ZENRIN CO., LTD. All Rights Reserved.

3

売上高は、
国内カーナビゲーション用データの販売が好調であったことに加え、
GIS関連の売上も堅調に推移したことなどにより、
35億12百万円増収の613億32百万円となり
過去最高を更新しました。

損益面では
営業利益は、12億7百万円増加し、54億41百万円、
経常利益は、13億35百万円増加し、58億63百万円、
親会社株主に帰属する当期純利益は、
8億74百万円増加し、33億36百万円となりました。

これにより、売上高、営業利益、経常利益は3期連続の増収増益
親会社株主に帰属する当期純利益は4期連続の増益となりました。

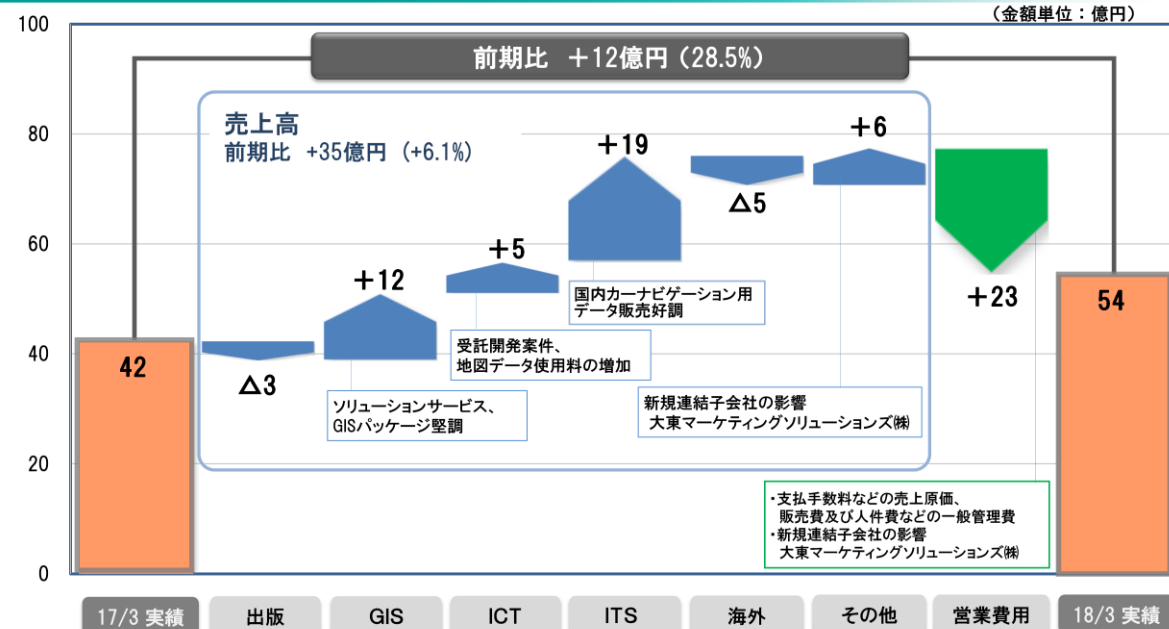
予想比においても、ITS事業の増収により売上高・利益ともに
大幅に増加しました。

1-2)営業利益増減要因(前期比)

2018年3月期 決算説明会

ZENRIN
Maps to the Future

(金額単位：億円)



© ZENRIN CO., LTD. All Rights Reserved.

4

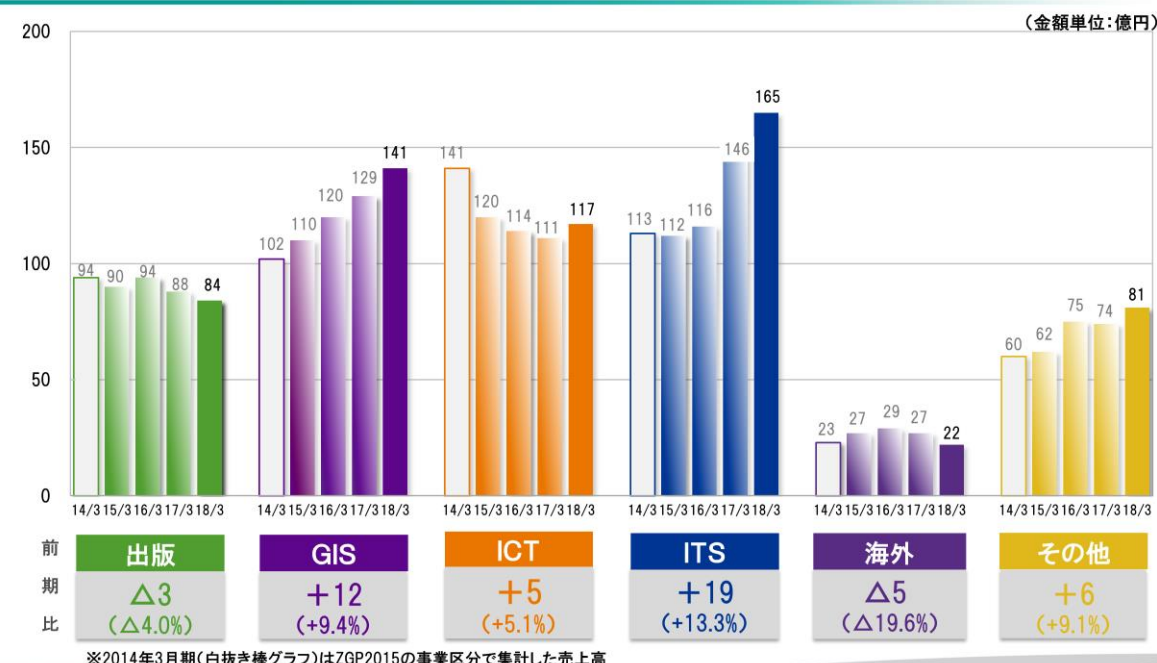
営業利益の前年比較について、
事業別売上高と、営業費用の増減を示しています。

GIS、ITSといった、限界利益率の高い事業を中心に
大幅に増収となったことで、
新規連結子会社のコストや人件費などの営業費用の増加を吸収し、
12億円の増益となりました。

1-3)中長期経営計画(ZGP2020)で区分した事業別売上高

2018年3月期 決算説明会

ZENRIN
Maps to the Future



© ZENRIN CO., LTD. All Rights Reserved.

5

各事業について

- ・住宅地図帳などを販売する「出版事業」は、
地図帳や受託調査の減少などにより、3億円減収となりました。
- ・「GIS事業」は、
GISパッケージの契約数が着実に増加していることに加え、
大手企業向けのソリューションも拡大したことで、
12億円増収となり、每期順調に推移しています。
- ・スマートフォン向けサービスの有料会員数の減少によって、
減収傾向であった「ICT事業」は、
地図サービス事業者への地図データ使用料や受託案件の増加などで、
4期ぶりに増収に転じました。
- ・「ITS事業」は、
引き続き、国内カーナビゲーション用データの販売が好調であったこと、
ADAS関連の売上も継続したことから、19億円の増収となりました。

- ・「海外事業」は、
海外メーカー向けの国内ナビデータの売上の一部を
「ITS事業」に含めたことなどで5億円減少となりました。

- ・「その他事業」は、
昨年10月に新たに連結子会社に含めた
大東マーケティングソリューションズの売上計上により
増加しました。

1-4)セグメント情報

2018年3月期 決算説明会

ZENRIN
Maps to the Future

売上構成
比率

83.7%

1. 地図データベース関連事業

主要品目等：住宅地図帳、住宅地図データベース
国内外カーナビ用地図データ
スマートフォン向けサービス
各種メディア・デバイスへの地図情報提供など



6.1%

2. 一般印刷関連事業

主要品目等：商業印刷



10.2%

3. その他

主要品目等：仕入商品、デジタルサイネージ、
マーケティングソリューションの提供



© ZENRIN CO., LTD. All Rights Reserved.

6

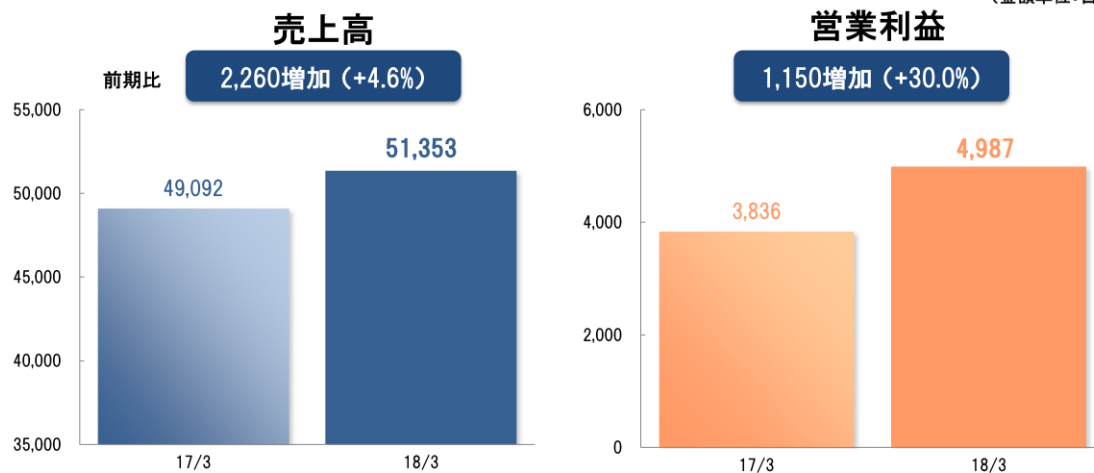
セグメント情報は、
「地図データベース関連事業」、「一般印刷関連事業」、
「その他」と、従来どおり3区分で開示しています。

1-4)地図データベース関連事業

2018年3月期 決算説明会

ZENRIN
Maps to the Future

(金額単位:百万円)



- 国内カーナビゲーション用データの販売が好調、GIS関連の売上も堅調に推移
- 支払手数料などの売上原価、販売費及び人件費などの一般管理費が増加したものの、増収効果により増益

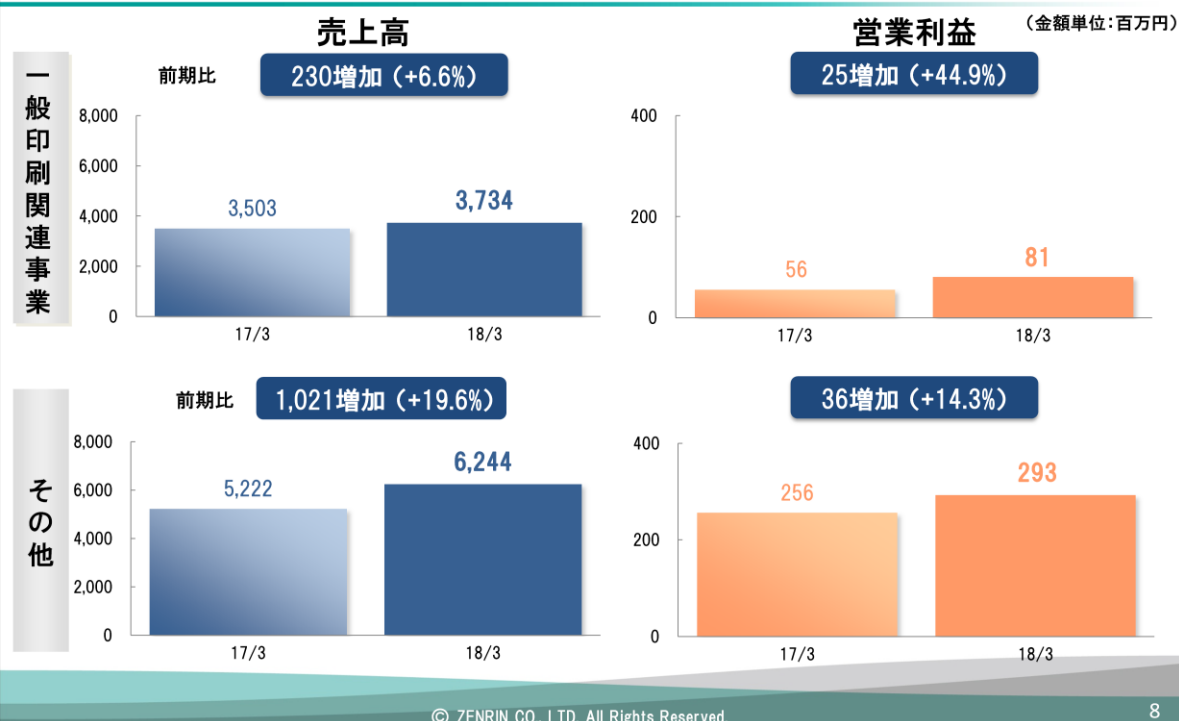
地図データベース関連事業

1-4)一般印刷関連事業・その他

2018年3月期 決算説明会

ZENRIN
Maps to the Future

(金額単位:百万円)



8

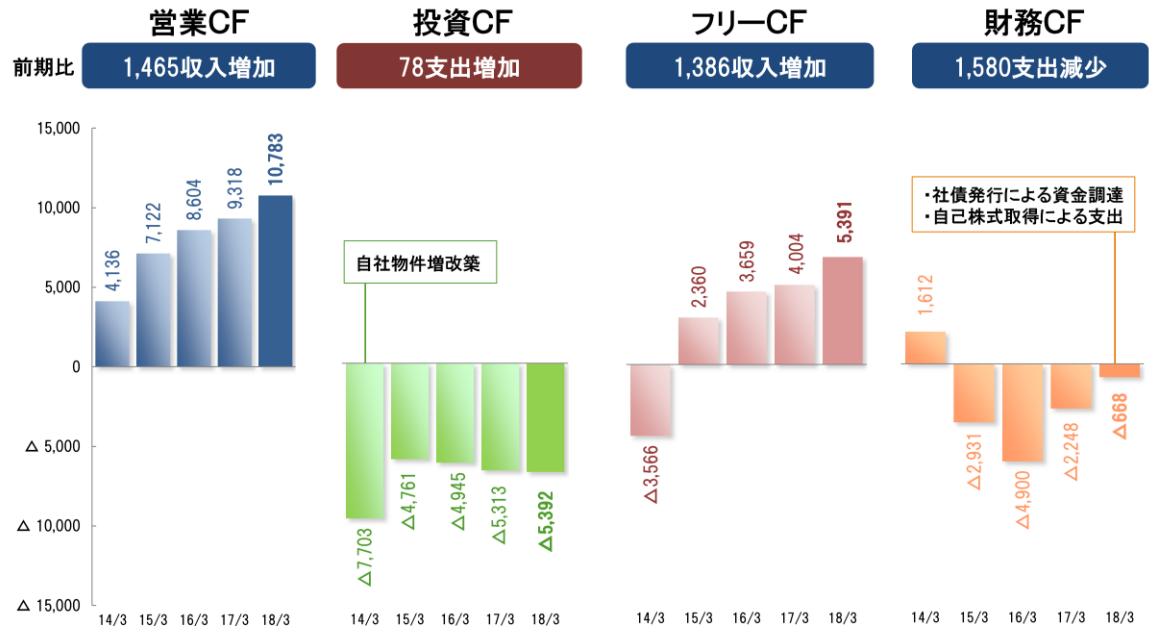
一般印刷関連事業・その他

1-5) キャッシュ・フロー推移

2018年3月期 決算説明会

ZENRIN
Maps to the Future

(金額単位:百万円)



© ZENRIN CO., LTD. All Rights Reserved.

9

キャッシュ・フローの状況について

- ・営業活動においては、増益により14億円収入が増加し、107億円となりました。
- ・投資活動では、有形及び無形固定資産の取得に加え、大東マーケティングソリューションズの株式取得、ダイナミックマップ基盤会社への追加出資などで、53億円を支出しました。
- ・その結果、フリーキャッシュ・フローは13億円増加し、53億円を確保しました。
この資金に加え、社債の発行により82億円の資金を調達し、自己株式の取得に51億円、長期借入金の返済、配当金の支払などに充て、財務活動では6億円の支出となりました。

目的及び内容(2018年1月29日開示)

<目的>

■株式の流動性の向上と投資家層の拡大

<内容>

■1月29日開催の取締役会において、株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更について決議

■普通株式1株につき1.5株の割合をもって分割
(基準日:2018年3月31日、効力発生日:2018年4月1日)

■株式分割に伴い、当社定款第6条の発行可能株式総数及び発行可能優先株式総数を1.5倍に変更
(効力発生日:2018年4月1日)

分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数	38,200,910株
今回の分割により増加する株式数	19,100,455株
株式分割後の発行済株式総数	57,301,365株

分割に伴う定款変更(発行可能株式総数)

株式の種類	現行定款	変更後定款
普通株式	134,000千株	201,000千株
第1種優先株式	67,000千株	100,500千株

※現在、第1種優先株式は未発行

前期末に実施した株主還元等について

当社は、株式の流動性向上と個人株主層の拡大を目的に
4月1日を効力発生日として、普通株式1株につき、1.5株の割合で
株式分割を実施しました。

1-6)資本政策及び株主還元(自己株式取得及び資金調達)

2018年3月期 決算説明会

ZENRIN
Maps to the Future

目的及び内容(2018年3月7日開示)

<目的>

■機動的な資本政策の遂行と、資本効率の向上及び株主還元の強化

<内容>

■3月7日開催の取締役会において、自己株式の取得とその資金調達を目的とした社債発行決議

■株式の種類及び総数： 普通株式 2,300,000株(上限)
※株式分割効力発生以降 3,450,000株(上限)

■取得価額の総額 : 80億円(上限)

■取得期間 : 2018年3月8日～5月31日

2018年4月末までの実施状況

2018年3月8日～31日 (ToSTNeT-3Iによる買付)	1,501,800株 (1,256,800株)
2018年4月1日～30日	0株
計	1,501,800株

※株式分割効力発生以降 2,252,700株

社債発行による自己株式取得資金の調達 (2023年満期ユーロ円建転換社債型新株予約権付社債)

社債総額	8,240百万円
社債の払込期日及び発行日	2018年3月23日
新株予約権行使期間	2018年4月6日～2023年3月17日
社債償還期限	2023年3月31日

© ZENRIN CO., LTD. All Rights Reserved.

11

3月には資本政策の一環として、
自己株式の取得と、その資金調達を目的に社債発行を決議し、
150万株(※)の自己株式を取得しました。

自己株式の取得については、当社株価・出来高等をみながら
取得枠の範囲まで、引き続き実施する予定です。

(※)株式分割後換算では、225万株となります。

1-6)資本政策及び株主還元(配当金)

2018年3月期 決算説明会

ZENRIN
Maps to the Future

基本方針

適正な内部留保を考慮しつつ、中長期経営計画における利益成長に基づいた利益還元を実施
連結株主資本配当率(DOE)3%以上を目標

2018年3月期配当金（前期比）	
中間	17円50銭（+50銭）
期末（予定）	17円50銭（ - ）
年間（予定）	35円00銭（+50銭）
2019年3月期配当金（株式分割前基準）	
中間（予想）	12円00銭（18円00銭）
期末（予想）	12円00銭（18円00銭）
年間（予想）	24円00銭（36円00銭） ※株式分割前基準では1円増配



© ZENRIN CO., LTD. All Rights Reserved.

12

当社は連結ベースでの中長期経営計画における利益成長に基づいた、
安定的かつ継続的な配当の実施を基本方針として、
連結株主資本配当率(DOE)3%以上を目標としています。

この方針に基づき、
期末配当金は、当初予定どおり1株当たり17円50銭、
年間配当金は50銭増配の、1株当たり35円となる予定です。

2019年3月期の配当予想は、1株あたり24円の予想としており
株式分割前基準では、1円増配としています。

2. 2019年3月期 通期業績予想

1) 通期業績予想

目次 2019年3月期 通期業績予想

2-1)通期業績予想

2018年3月期 決算説明会

ZENRIN
Maps to the Future

2019年3月期 通期業績予想について

前期比<増収増益>

次期中期経営計画を見据え、新たな事業区分に基づいた事業戦略再編

- 既存ビジネスによる収益確保
- ADAS、IoT、マップデザインビジネスなど新規ビジネスの収益化
- 時空間情報システムの安定運用と商品開発

(金額単位:百万円)

	2018年3月期 実績	2019年3月期 予想	前期比	増減率(%)
売上高	61,332	64,000	2,667	4.3
営業費用	55,890	58,200	2,309	4.1
営業利益	5,441	5,800	358	6.6
営業利益率	8.9%	9.1%	0.2pt	
経常利益	5,863	6,200	336	5.7
親会社株主に帰属 する当期純利益	3,336	3,700	363	10.9

© ZENRIN CO., LTD. All Rights Reserved.

14

通期の業績予想は、

売上高 640億円

営業利益 58億円

経常利益 62億円

親会社株主に帰属する当期純利益 37億円と

増収増益を見込んでいます。

3. 事業概況

1) ZGP2020進捗

2) 新事業区分と重点施策

- ・事業区分の見直し
- ・事業別売上高(実績/予想)
- ・新事業区分と重点施策

3) 時空間情報システムを活用した商品/サービス基盤の開発

目次 事業概況

3-1) ZGP2020 進捗

2018年3月期 決算説明会

ZENRIN
Maps to the Future

	ZGP2020 実績と目標値				
	2016年3月期 実績	2017年3月期 実績	2018年3月期 実績	2019年3月期 予想	2020年3月期 目標
連結売上高	549億円	578億円	613億円	640億円	700億円
連結営業利益 (利益率)	30億円 (5.5%)	42億円 (7.3%)	54億円 (8.9%)	58億円 (9.1%)	100億円 (14.2%)
ROE (自己資本当期純利益率)	4.0%	6.0%	8.2%	9.4%	12%以上
DOE (連結株主資本配当率)	3.0%	3.1%	3.2%	3%以上	3%以上

2018年3月期 の進捗/評価

- ・GISパッケージやGISソリューション強化により安定収益確保
- ・国内カーナビゲーション用データシェア向上によるITS事業の収益拡大
- ・ADAS関連の取引継続、ドローンの実証実験実施

次期中長期経営計画 に向けた取り組み

- ・収益化の早期実現を目指し、新事業区分の設定
- ・時空間情報システムを活用した商品/サービス基盤の開発
- ・生産性向上施策の継続実施

© ZENRIN CO., LTD. All Rights Reserved.

16

中長期経営計画「ZENRIN GROWTH PLAN 2020」も4年目となり、業績は順調に推移していますが、最終年度の売上げ目標700億円には、若干乖離している状況です。

外部環境の変化等を踏まえ、現在、次期中長期経営計画も策定しています。次期計画を見据えて、今期業績目標の達成を目指します。

3-2)事業区分の見直し

2018年3月期 決算説明会 **ZENRIN**
Maps to the Future

従来の
事業区分

出版
GIS
ICT
ITS
海外
その他

事業環境の変化

モノ消費からコト消費へ
社会情勢の変化への対応と
行政サービスの質の向上
消費満足度が
機能的価値から感性的価値へ
自動車業界は地域、業界を超えた
新たな競争環境へ
IoTによる位置情報サービスの登場で
GISがIoTの領域に進化
マーケティング3.0/4.0時代へ

次期中期経営計画を見据えた事業区分へ

2019年3月期からの事業区分

プロダクト
公共ソリューション
マップデザイン
オートモーティブ
IoT
マーケティングソリューション

© ZENRIN CO., LTD. All Rights Reserved.

17

環境の変化に対応し、
従来の事業区分から、

- ・「プロダクト」
- ・「公共ソリューション」
- ・「マップデザイン」
- ・「オートモーティブ」
- ・「IoT」
- ・「マーケティングソリューション」

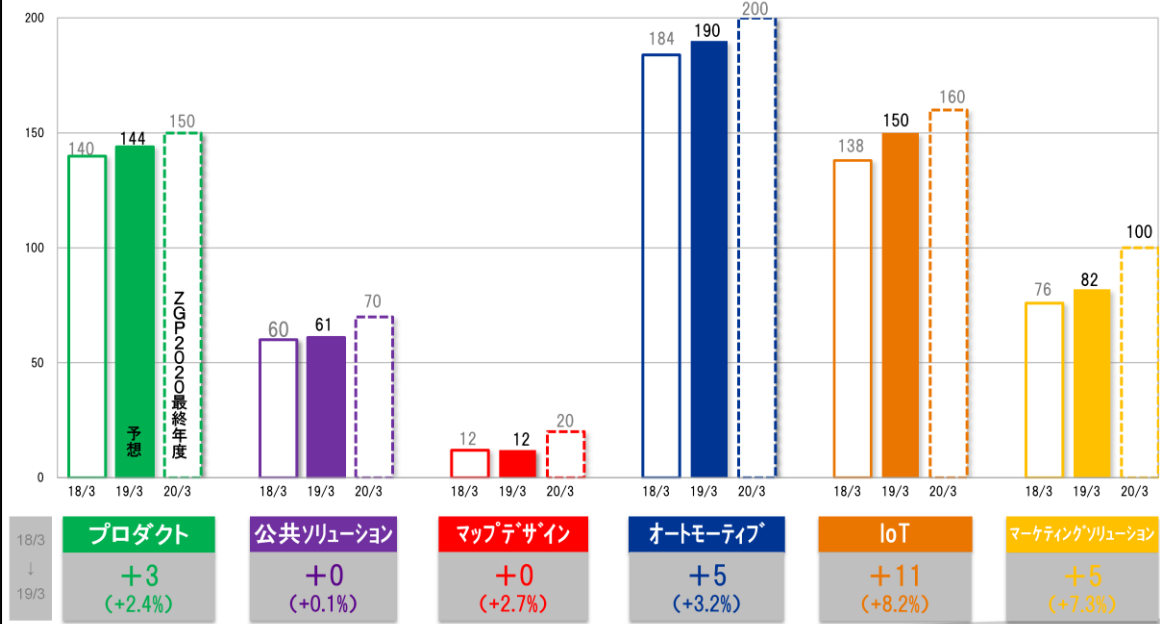
の6事業に、事業区分を見直します。
(それぞれの事業内容については後述します。)

3-2)事業別売上高(実績/予想)

2018年3月期 決算説明会

ZENRIN
Maps to the Future

(金額単位:億円)



© ZENRIN CO., LTD. All Rights Reserved.

18

新事業区分での、
ZGP2020売上目標700億円の内訳を示しています。

3-2)新事業区分と重点施策 ―プロダクト事業―

2018年3月期 決算説明会

ZENRIN
Maps to the Future

(金額単位:億円)

プロダクトアウトの商品開発で 住宅地図DBの価値向上

2019年3月期 売上高予想
前期比 +3億円(+2.4%)

事業内容

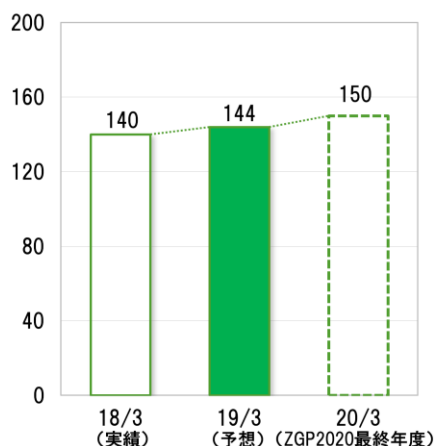
- ・主に住宅地図関連商品を利用する事業者に業務効率化や用途に合った商品・サービスを提供
- ・既存データベース活用により安定収益基盤確保

主要商品群

- ・住宅地図帳、ブルーマップ
- ・GIS/パッケージ
- ・住宅地図データ

重点施策

- ・用途開発による新商品リリース
- ・ストック型商品の展開による安定収益の確保



※2018年3月期及び2020年3月期は、従来の事業区分から組替。

© ZENRIN CO., LTD. All Rights Reserved.

19

プロダクト事業では、
カスタマイズやメンテナンスが不要なパッケージ商品など、
変動費が小さく、お客様にとっても購入しやすい、
商品提供を行っていきます。

市場のニーズをいち早くとらえ、
迅速に市場投入できる商品開発のスキームを確立し、
ストック型商品を中心とした安定収益の確保を目指します。

3-2)新事業区分と重点施策 ―公共ソリューション事業―

2018年3月期 決算説明会

ZENRIN
Maps to the Future

(金額単位:億円)

中央省庁、地方自治体向けの
商品・サービス提供で収益拡大

2019年3月期 売上高予想
前期比 +0億円(+0.1%)

事業内容

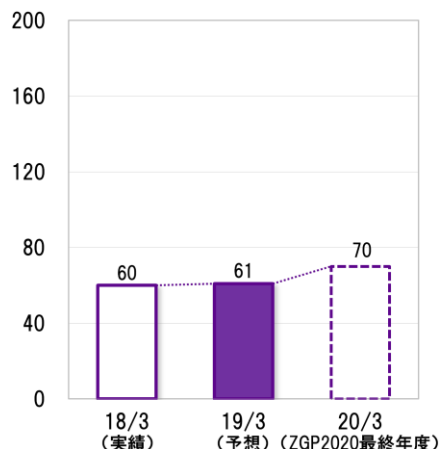
- ・中央省庁、地方自治体の業務をサポートする商品・サービスを提供
- ・自治体プラットフォームを確立し売上拡大を図る

主要商品群

- ・LGWANに対応した住宅地図関連サービス
- ・消防、警察向け地図データ
- ・災害時支援協定を通じ地域防災や減災を支援

重点施策

自治体業務に特化した専用プラットフォームの確立



※2018年3月期及び2020年3月期は、従来の事業区分から組替。

© ZENRIN CO., LTD. All Rights Reserved.

20

公共ソリューション事業では、
自治体向けの新たなプラットフォームの確立を目指します。

従来、自治体ビジネスは住宅地図帳の販売が主でしたが、
LGWAN^(※)の導入本格化に向けて、
同環境に対応した住宅地図関連サービスを現在開発中です。

LGWANを通してサービスを提供することで、
自治体の方々の利便性も向上すると考えています。
また、災害時支援など当社が持つノウハウを
ソリューションパッケージとして、
LGWANで提供する商品開発なども行っています。

※LGWAN:総合行政ネットワーク(Local Government Wide Area Network)。

地方公共団体情報システム機構(J-LIS)が運営する

高度なセキュリティを維持した行政専用の閉域ネットワークです。

このネットワークを介して、自治体は各種の行政サービスを共同で利用することができます。

3-2)新事業区分と重点施策 マップデザイン事業

2018年3月期 決算説明会

ZENRIN
Maps to the Future

(金額単位:億円)

地図が持つ潜在的価値の 具現化による事業ドメインの確立

2019年3月期 売上高予想
前期比 +0億円(+2.7%)

事業内容

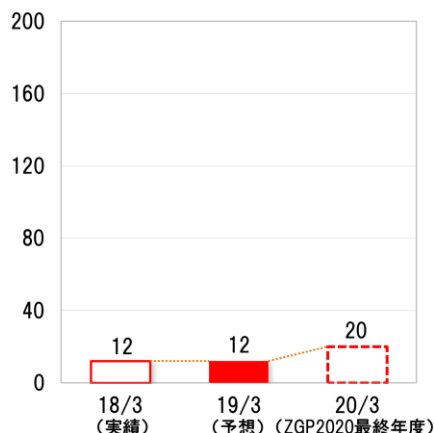
機能的価値だけでなく、感性的価値を重視する
消費者に対して、地図を新たなコンセプトで捉えた
商品を展開

主要 商品群

- ・企画地図
- ・「mati mati」シリーズ(コンシューマ向け)
- ・オリジナル地図柄グッズ(企業向け)

重点施策

- ・商品開発により地図の新たな利用機会を創出
- ・スポーツ・文化イベントでの期間収益の獲得



※2018年3月期及び2020年3月期は、従来の事業区分から組替。

© ZENRIN CO., LTD. All Rights Reserved.

21

マップデザイン事業では
地図が包含する潜在的価値(感性的価値)の
具現化による事業を確立していきます。

地図のデザイン性は、あらゆる商品との親和性があり
既に販売を開始しているステーションナリーなど
コンシューマー向けの商品だけでなく
今後は企業向けのノベルティなど、需要の高まりも実感しています。

当事業はまだ立ち上げの段階ですが
潜在市場規模は大きいと考えていますので
チャレンジを継続していきます。

3-2)新事業区分と重点施策 ―オートモーティブ事業―

2018年3月期 決算説明会

ZENRIN
Maps to the Future

(金額単位:億円)

国内外のナビ関連ビジネスの安定化と自動運転及びADASビジネスの市場創造

事業内容

- ・既存の国内カーナビ用地図データ提供分野でのシェア維持・拡大による安定収益確保
- ・自動運転やADAS、コネクティビティの向上に対応した新規ビジネスでのシェア確保

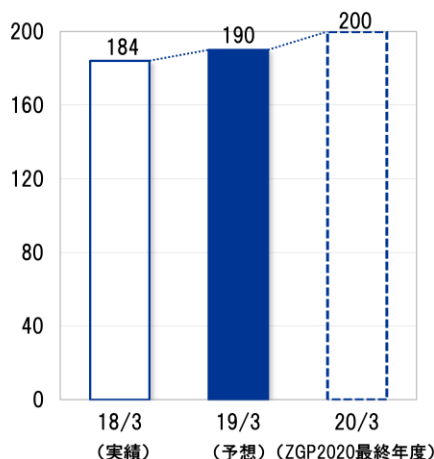
主要商品群

- ・国内カーナビゲーション用データ
- ・高精度3Dデータ
- ・コネクテッドカー向けナビアプリ

重点施策

- ・AD/ADASビジネス(高速道路)での量産対応
- ・AD/ADASビジネス(一般道)の研究開発

2019年3月期 売上高予想
前期比 +5億円(+3.2%)



※2018年3月期及び2020年3月期は、従来の事業区分から組替。

© ZENRIN CO., LTD. All Rights Reserved.

22

オートモーティブ事業では、従来のITS事業に引き続き、既存のカーナビゲーションビジネスと、自動運転・ADAS関連ビジネスを推進していきます。

既存のカーナビゲーションビジネスは、国内の自動車販売市場が縮小傾向にあると言われる中で、どのように売上を拡大していくかが課題です。

また、自動運転・ADAS関連ビジネスは、各自動車メーカー毎に取り組み内容や進捗はさまざまで、異業種からの参入も増加しています。

高品質のデータ、付加価値の高いコンテンツ提供により、既存カーナビゲーションのビジネスを維持しながら、各自動車関連企業との協業を通して、自動運転における新たな市場創造を行っていきます。

3-2)新事業区分と重点施策 ―IoT事業―

2018年3月期 決算説明会

ZENRIN
Maps to the Future

(金額単位:億円)

位置情報ビジネスと IoTソリューションの融合

2019年3月期 売上高予想
前期比 +11億円(+8.2%)

事業内容

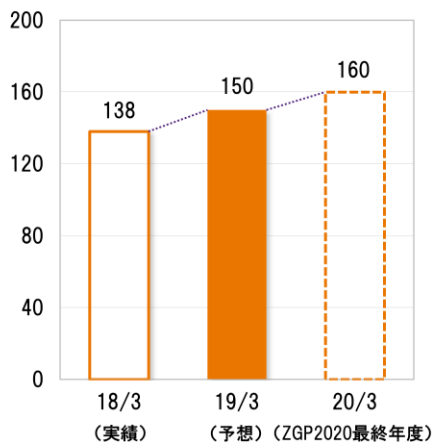
IoTによって収集されたビックデータを活用する企業との連携による、位置情報サービス、ソリューションの提供

主要 商品群

- ・地図情報とビックデータ(プローブ情報)
- ・地図情報と土地、建物情報
- ・地図情報とAIソリューション

重点施策

- ・企業(不動産、物流、交通、インフラ、サービスプロバイダー等)との連携によるビジネス拡大
- ・ドローンビジネス収益化
- ・自動運転用地図技術を活用したMaaSビジネスの創造



※2018年3月期及び2020年3月期は、従来の事業区分から組替。

© ZENRIN CO., LTD. All Rights Reserved.

23

IoT事業では、
従来のGIS、ICT事業の区別をなくし、
「モビリティで繋がるサービス」という観点から
ビジネスを創造していきます。

IoT社会においても、
地図情報の利用価値は高いと考えています。
さまざまな情報や技術を持つ企業とも連携し、
新たなサービス、ソリューションの提供を目指します。

3-2)新事業区分と重点施策 ーマーケティングソリューション事業ー ZENRIN

2018年3月期 決算説明会

(金額単位:億円)

マーケティングソリューション ビジネス確立と拡大

2019年3月期 売上高予想
前期比 +5億円(+7.3%)

事業内容

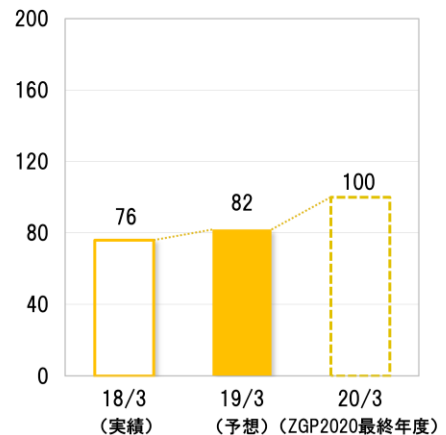
SNSの進化やデジタル革命により、消費マインドが大きく変化するなか、効果的なマーケティングソリューションを提供

主要 商品群

調査、分析、企画、制作、展開、効果検証など一連のマーケティング施策を支援

重点施策

グループリソースを活用した、マーケティングソリューションビジネスの創造と事業拡大



※2018年3月期及び2020年3月期は、従来の事業区分から組替。

© ZENRIN CO., LTD. All Rights Reserved.

24

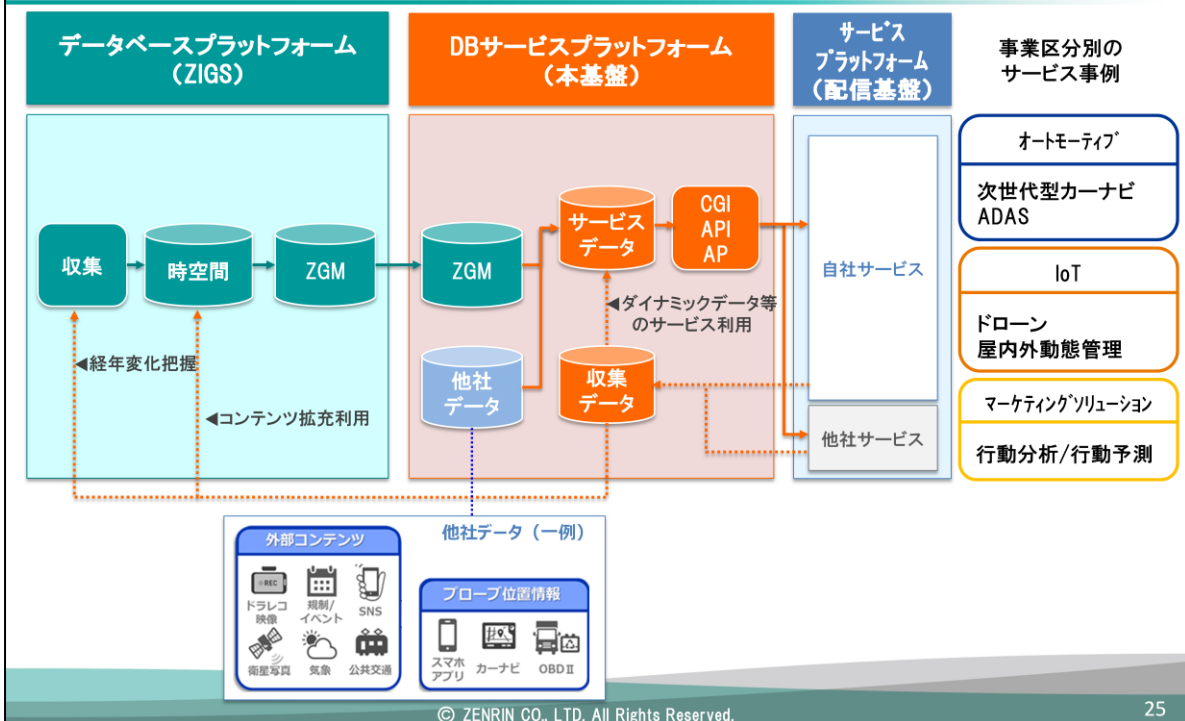
マーケティングソリューション事業では、
中堅企業、個人事業主を中心に、
マーケティングの支援事業を展開していきます。

当社グループ会社の持つリソースを統合し、
中堅企業、個人事業主の方でも手軽に利用できる、
マーケティングのトータルソリューション提供を目指します。

3-3) 時空間情報システムを活用した商品/サービス基盤の開発

2018年3月期 決算説明会

ZENRIN
Maps to the Future



25

地図情報データベースの生産管理について

既存の「データベースプラットフォーム」、
「サービスプラットフォーム」に加え、
現在、新たに「DBサービスプラットフォーム」を構築しています。

他社が提供する外部コンテンツやプローブ情報等収集データを、
当社の保有する地図情報データと融合し、
新たなサービスデータを生成するためのプラットフォームです。

当プラットフォーム構成により、低コストで、
多様なニーズに迅速に対応できるサービス基盤が完成します。

ZENRIN

Maps to the Future